

ロボット村へようこそ!

— 2015年6月1日オープン —

当社は今年創立100周年を迎えます。

創立100周年を記念し、当社は北九州市の本社事業所を「ロボット村」としてリニューアルを進めてまいりました。

そして、6月1日、ついに黒崎の町にロボット村がオープンしました。

ロボット村は、「YASKAWAの森」「安川電機みらい館」「ロボット工場」「本社棟」「厚生棟」で構成されています。

当社は、ロボット村を通してものづくりの楽しさ・すごさを発信し、

より地域に根ざした皆様に親しまれる企業となることを目指し活動してまいります。

是非皆様にロボット村にお越しいただき、ものづくりそしてロボットの未来をともに創造していく場として

今後とも更に発展していきたいと願っています。

特集では、オープンしたロボット村の全貌をご紹介します。

安川電機みらい館 (見学は予約制)

お客様や学校・研究機関、地域の方々に、ものづくりの魅力、そしてロボットの最新技術などを発信する展示・体感・学習施設です。



ロボット工場

ロボット工場は第1から第3までの3棟に分かれており、それぞれ異なる種類のロボットを製造しています。ロボットの主要部品を入間事業所(埼玉県)と中間事業所(福岡県)から供給し、グローバルにロボット事業の核となる生産拠点を確立しています。



本社棟

本社棟は、フロア全体が吹き抜けとなり解放感に溢れており、心地よく業務に取り組むことができます。

自然採光をうまく取り入れる事でスマートオフィス化を実現しました。また、1階のエントランスには「創造の源泉」を象徴する存在として知的活動を司る女神をモチーフとした「PixCell-Double Muse」がお客様をお出迎えます。



YASKAWAの森 (一般開放時間 9:00~16:30)

本社社屋と事業所前のバイパスの間に緑地帯を設け、平日の日中は一般解放します。



厚生棟(カフェテリア)

2014年5月に新設された厚生棟は食堂や診療所など、従業員が安心して働くための福利厚生施設の役割を果たします。

ロボット村のみどころ紹介

安川電機みらい館

ものづくりの楽しさや凄さ、そして最新のロボット技術を伝えます。



安川電機みらい館

1F

安川電機の「今」を知る
先端技術と未来展望を語る
安川電機そのものを感じる
ラウンジ空間



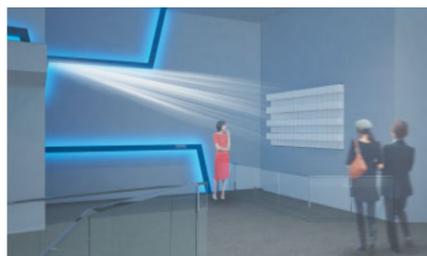
エントランスではMOTOMAN1号機の現物や最新ロボットによる協調動作パフォーマンスなどがお迎えします。



イノベーションステージでは研究開発中の最先端技術を展示・実演しています。

2F

安川電機のものづくりの
凄さを体感する
人とロボットの共存を考える
参加型のテーマ空間



メカトロクスウォールは256個のサーボモータを同期制御し、安川電機のモーションコントロール技術とプロジェクションマッピングを組み合わせた不思議な空間を体感できます。



「サステナブル・ファクトリー」ではロボット村に導入された環境技術の情報を総覧することができます。

3F

ロボットとその技術を
「学び・考え・創造する」
次世代育成のための
産学連携コミュニティラボ



安川電機の技術に実際に触れて「学び、考え、創る」楽しいワークショップやセミナーなども開催する予定です。

安川電機みらい館は、事前予約のうえ
ご見学いただけます。
予約方法は当社オフィシャルサイトを
ご参照ください。

<http://www.yaskawa.co.jp/company/tour>

ロボット工場

第1工場、第2工場、第3工場から構成されています。

第1工場



第1工場では、1990年世界で初めてロボットがロボットを作る工場として誕生して以来、常に最先端のロボットを投入し、アーク溶接、ハンドリング用途の小型ロボットを製造しています。

第2工場



第2工場は液晶ガラス基盤搬送用ロボットや大型真空ロボットなど、クリーンな環境で使われるロボットを製造しています。

第3工場



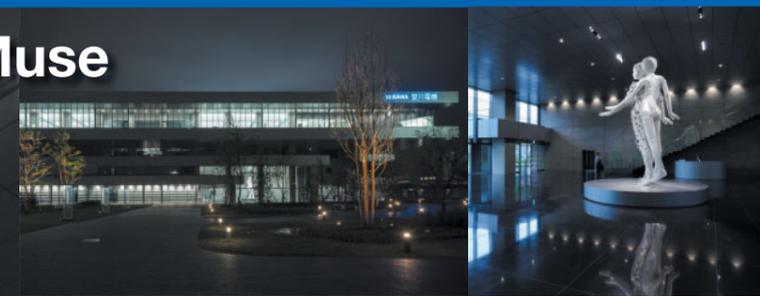
第3工場では、自動車産業向けの中型・大型ロボットを製造しています。

YASKAWAの森

YASKAWAの森は、四季折々の自然を楽しむことができる多彩な植物、樹木が植樹されています。その種類なんと100種類以上。平日の日中は一般公開しますので、社員のみならず市民の皆さまの憩いの場としてご利用ください。(一般開放時間 9:00~16:30)



PixCell-Double Muse



建物の外からも見るすることができます。

高さ4.8m

新本社棟の1階には記念モニュメントが設置されています。

【コンセプト】

ギリシャ神話であらゆる知的活動を司る女神「ミューズ」をモチーフに、最先端の現代芸術を追究した世界の「美」と、メーカーとしてクオリティの追求により到達するシャープ感のある工業的な「美」を融合させた作品です。当社がこれまで続けてきた、そしてこれからも続けていく「創造」と「革新」に繋がる世界を、新しい時代を象徴する「創造の源泉」として表現しています。